

安心のシニアライフを送るために

もう半世紀を、優雅に暮らす 「上質」にこだわった 高齢者マンション

ハーフ・センチュリー・モア
「サンシティ横浜」

シニアライフは愛着ある街で、豊かな時間を過ごしたい——。新タイプの高齢者マンション「サンシティ」シリーズは、もう半世紀を輝かせる上質な住空間を提案する。

都市と緑が融合した 上質なくつろぎの空間

JR横浜駅から車で15分。横浜の街を一望できる高台に、人気の高齢者マンション「サンシティ横浜」は位置する。2万5千坪超の広大な敷地は、横浜市内にほど近い場所とは思えないほど豊かな緑に恵まれている。市街地の利便性と自然が共存する好立地といえる。

一歩足を踏み入れれば、高級ホテルを思わせる優雅な施設に目を見張る。メインラウンジには調度品がゆったりと配置され、上質なくつろぎの時間を演出している。本格的なコンサートを開催できるホールやフィットネスルームなど付帯設備も充実。昼下がりににはビリヤード場に仲間が集ったり、図書室で読書や俳句を楽しんだり。思い思いの楽しみを見つけ、「老いてますます若く」の生き方を実現しているようだ。安心とくつろぎの場である居

室は一人ひとりのプライベートな時間を守る配慮が尽くされている。個別のキッチンやバス・トイレは、もちろん、床暖房やIHクッキングヒーターを完備し、一般の分譲マンションと比べても遜色ない。広さは標準タイプの居室で約50㎡。夫婦二人でもゆとりを持って暮らせる。24時間事務所につながる緊急コールを備えるなど、非常時への備えも抜かりない。病気の際は同一建物内にある医療機関「横浜メディカルクリニック」をはじめとした協力医療機関の医師と連携して対応できるよう、協力体制を確立している。「食」に対しても、とびきり



高級ホテルを思わせるゆったりとしたメインラウンジ



本格的なコンサートを開けるホールをはじめ、付帯設備も充実

のこだわりが光る。ダイニングではシェフが旬の食材を用いて、趣向を凝らしたメニュー



左：設備は床暖房など一般の分譲マンションに比べても遜色ない
上：旬の食材をふんだんに生かした食事

を提供。和食から中華、イタリアンまでバリエーションはさまざま。一日あたり1800キロカロリーを目安に、栄養バランスを計算して献立を考えるので、おいしく、健やか



季節の移ろいを身近に感じられる広々とした中庭

に食事できる。毎食2〜3種類の日替わりメニューから、予約なしで食べたい料理を選べるセレクトメニュー方式もうれしい。ダイニングでは専属スタッフが、本格レストランさながらのサービスでもてなしてくれる。

20年、30年先を見据えた 安心の経営実績

サンシティ横浜と同一敷地内にある介護専門の「ロイヤルケア」には看護師やケアスタッフが24時間体制で勤務する。もしも将来、要介護状態になれば追加負担なしでロイヤルケアに移行できる。住み慣れた場所と上質なサービスはそのままだに、手厚い介護を受けられるというわけだ。

施設選びには20年、30年先を見据えた視点が必要だ。サンシティシリーズを運営する株式会社ハーフ・センチュリー・モアは、借入金なしで資本金120億円という安定経営を堅持してきた。この経営実績は大きな判断材料となりそう。

ちなみに、2013年6月には隣接する敷地に「サンシティ横浜

南」がオープン予定。開業前にもかかわらず、早くも入居予約が入っているという。入居時に必要なのは「入居一時金」(2千万円台〜7千万円台)と「健康管理費」(525万円)のみ。その後は、食費や管理費で毎月約17万円(一人入居の場合)を支払う形となる。入居時の費用は15年で償却し、16年目以降の追加料金は不要。早めに入居し、健やかに、長生きするほどお得というわけだ。

もう半世紀を、もっといきいきと。そう考えるなら、サンシティで充実のシニアライフを手に入れてほしい。

3/25(月)26(火) サンシティ横浜見学会実施
AM11時横浜駅西口天理ビル前集合
お問合せ先: 0120-373-265

●サンシティ横浜 ■住所: 神奈川県横浜市保土ヶ谷区仏向町1625-1 ■交通: 相鉄本線「和田町」駅下車、車で7分(2.4km) ■類型: 介護付有料老人ホーム ■介護保険: 神奈川県指定介護保険特定施設(一般型特定施設) ■権利形態: 利用権方式 ■入居条件: 入居時自立、原則満65歳以上の方 ■介護に関わる職員体制: 1.5対1以上 ■総居室数: 600室(一般居室480室、介護居室120室)

〈事業主体・運営〉

株式会社ハーフ・センチュリー・モア
<http://www.hcm-suncity.jp>

検索 サンシティ横浜